



いのちとくらしをまもる  
防災減災

## 岩手山における火山監視体制を強化します

仙台管区気象台では、岩手山の監視体制強化のため、本日（11月5日）臨時の監視カメラを設置し、運用を開始しました。

岩手山では、2024年2月頃から山体の深いところの膨張を示す地殻変動が観測され始め、その後、黒倉山付近の地震の増加や国土地理院による「だいち2号」のSAR干渉解析結果で大地獄谷周辺に衛星に近づく変動がみられるなど火山活動が高まっています。

これらのことから、仙台管区気象台では、岩手山の監視体制を強化するため、臨時の監視カメラ「観測点名称：長山篠川原（ながやましのかわら）」を本日（11月5日）設置し、運用を開始しましたのでお知らせします。

なお、臨時の監視カメラの映像は、準備が整い次第、気象庁ホームページで公開します。



この図は国土地理院の「地理院地図」を使用して作成しています。

### 【問合せ先】

仙台管区気象台 気象防災部 地域火山監視・警報センター  
電話：022-291-5683